

Surfing news

# サーフィン新聞

発行：サーフィン新聞編集部（毎月第1・第3月曜日発行）  
〒297-0008 千葉県茂原市渋谷1016-12  
Mail : agree-art@mail.goo.ne.jp

### サーフィン新聞提供

・九十九里沿岸の波情報  
・湘南の波情報は「今朝の波情報」とともに  
毎朝7時すぎネット上で放送中！

## 大震災以降活気戻りホツと… 九十九里沿岸に サーファーたちが賑わう週末に

2011年3月11日に発生した東日本大震災以降、九十九里沿岸のサーフポイントは一気に激減。ポイントだけではなく、周辺のサーフショップや飲食店などが閑散とし、閉店騒ぎが起こるほどだったが、ようやく平時に戻り活気が漲ってきている。

### もつと関係者が介して ”安全性”のPRが必要

サーファーたちの姿が消えてしまった時期があり、どうなることやらと関係者が気をもんでいた昨年、「東日本大震災」以降、海に直接入り、身体に海水が

ベタつく状態を避けたい事情があった。それは福島原発からの放射能漏れが影響し、海に入ることを絶対的に嫌がったことであつた。次第に各自

治体で放射能検査など行われるようになり、九十九里沿岸の自治体も独自に検査して”安全”を宣言してきた効果も現れて、ようやく昨年の秋以降少しづつサーファーたちの姿が戻り始

てきた。一宮海岸沿いのショップでは「最悪店を閉めることもかんがえました」とか「ダメならほかの仕事に転業したり、勤めにでもいいかなあ」とモヤモヤ気分になったそうです。それでもサーフィンが好きで「頑張るだけ頑張ろうと、気持ち

を入れ替えてきましたよ」と、片貝海岸の某ショップでベテラン店長が本音を話してくれた。国内では優秀なサーフィンのメッカとも言える九十九里沿岸（本須賀・片貝・白子・一宮・太東・大原など）は、昨年暮れから正月にかけて、安全性が行き届くようになり、千葉県以外の他府県から多くのサーファーたちが訪れるようになり、2012年に入ってから「心配した時期が不思議でならない」状態に回復してきて、関係者たちは、いつもの笑顔で海辺を望んでいる姿が印象的だった。今後はサーフィン業界のみならず、県単位や地元自治体、観光協会などが一堂に介して”安全かつ楽しめる九十九里沿岸でのサーフィン誘致を…”真剣に広報する方向に力を入れて欲しいものです。



次号は  
2月13日発行

サーフボード製造販売、及びサーフィン関連商品の販売

chp本社（株式会社）  
社カルホルニアハ  
ワイプロ  
モーション）  
千葉県長生郡一宮町東浪見742  
813  
Phone 047514214626



LATEWRAP  
Wet Suits

ウエットスーツでは信頼のブランド・レイトラップはサーファーたちに憧れの的となっています。すぐにお近くのサーフ・ショップからお申し込み下さい。

■（有）レイトフオーラップ（千葉県山武郡九十九里町片貝1716の4）  
TEL 0475（76）7978